

「教育は人ない」

「教育は人なり」という言葉があります。この言葉は、教育はいかに世の中が変化しようとも、人によって行われるものであり、良い教育のためには、優れた人格を伴った指導力を持つ教師が不可欠であるという意味だと私は思っています。だから私たち教師は、日々研鑽し、人として、また指導者としての資質を高めていかなければならないと思っています。

皆さんには、心に残っている先生がおられるのではないのでしょうか。厳しかった先生、自分の話を真剣に聞いてくれた先生、ちょっとしたことでも自分のことのように喜んでくれた

先生

中山 譲

子どものことを すきなだけではだめだけど
子どものことを好きでなければ 先生にはなれない

いつも にこにこしているだけではだめだけど
心を許し 笑えなければ 先生にはなれない

情熱ひとすじ 向かうだけではだめだけど
きらめく情熱 持てなければ 先生にはなれない

思ったことを 話すだけではだめだけど
思いをことばにできなければ 先生にはなれない

子どものそばを 歩くだけではだめだけど
よりそい 共に歩まなければ 先生にはなれない

子どもを守り かばうだけではだめだけど
子どものいのち 守らなければ 先生にはなれない

信じた道を 進むのはつらいことでも
仲間と夢を信じなければ 先生にはなれない

子どものことを すきなだけではだめだけど
子どもを愛するあなただから 先生とよびたい

先生。教師を目指した私の中にも、憧れ、お世話になった恩師が小中高それぞれの時代におられます。その先生は、毎日の授業や部活動などを通じて、自分自身の生き方や人間性までを何かの形で伝えようとしている先生だったように思います。今大人になってみると、身近で学んだ先生から大きな影響を受けています。保護者のみなさんも学校で生活していた頃、心に残っている先生の言葉や思い出があると思います。

教師という仕事は、子どもの人生にかかわることができる仕事です。人の成長やこれからの生き方に関わる仕事はそう多くありません。そこに教師としての喜びを感じながらも、私たちはその喜びと同じくらい重い責任があるのだと肝に命じなければなりません。偉そうなことを言っている私も、学級担任をしていた頃は多くの失敗をしました。学級の子どもたちが落ち着かないこと、配慮の足りない発言や、対応の遅さに保護者の方からお叱りを受けたこともたくさんあります。教師であることとはどういうことか問いながら、まだまだ未熟で至らないことも多い

とは思いますが、私たち教師は、子どもたちを中心に据えて、日々の教育実践に取り組もうと思っています。